

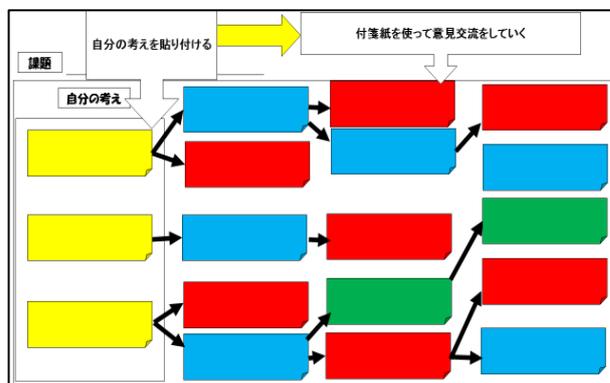
実践記録（小5・社会）

1 ねらい

意見交流を通して友達と考えを共有し、自分の考えを深めることができる。

2 手立て

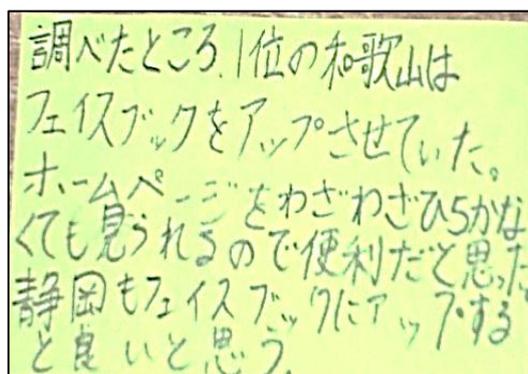
ワークシートを使って意見交流を行う。まず、子どもたちは事前に情報を収集し、それぞれ自分の考えをもっておく。次に、4人グループで1枚のワークシートを使用し、自分の考えを黄色の付箋紙に記述して貼り付ける。それぞれの考えに対し、賛成なら青、反対なら赤、質問や答えは緑の付箋紙紙に記述し、視覚的に捉えられるように色分けしていく。意見交流を終えた後、ワークシートにある付箋紙から、自分の考えに取り入れたいものを選択することで、自分の考えをより深めていく。



【ワークシートでの交流イメージ】

3 実践の様子

事前に情報を本やインターネットから収集していたため、すぐに付箋紙（黄）に最初の考えを記述することができた。みかんについて調べたグループは、インターネット通販やSNSを活用している農家がいることや、農業体験を行っている団体があることを調べていた。その情報を根拠に、意見交流では「フェイスブックにアップする。」や「みかんの栽培体験をする。」など、生産量を上げるための取り組みについて自分の考えを発表していた。また、その考えに対し、「テレビの方が視聴者の数も多く、年齢も幅広いと思うから、フェイスブックにアップするのは反対です。」という意見もあがった。最後に学習の振り返りをさせると、「友達の意見を聞いて、自分の考えに取り入れたいと思った。」と発表しており、考えが深まったことを実感している子どもの姿が多く見られた。



【記述した最初の考え】

しかし、付箋紙に記述することで精一杯になってしまい、意見交流に参加しきれていない子どもの姿も見られた。また、子どもの中には「商品をCMで紹介する。」など、生産量を消費量と取り違えたまま、自分の意見を考えている子どももいた。



【考えを深め合う子どもたち】

4 成果と課題

- 付箋紙で意見を色分けしたことにより、賛成や反対などの意見を視覚的に判断でき、効率よく意見交流することができた。
- 事前に情報を収集していたことで、自分の考えに根拠をもって意見交流を行うことができた。
- 発言はできたが、意見を書くことに時間が掛かり、意見交流が進まないグループがあった。